

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を満たして運営している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			規定より多く配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			教室は2階であるがエレベーターが利用でき、段差も少ない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		各自目標設定と振り返りを行い、管理職との面談の機会を設けているが、業務改善の効果は不十分などもある。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの結果を受けて職員で話し合い、改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			発達障害についての知識、アセスメント、支援の実践方法、虐待防止等について研修を行っている。また、ボランティアスタッフについても研修を実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			成育歴や保護者の話、相談機関の見立て、心理検査などから情報をつないで計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			WISCIV、KABC II などを用いている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当するスタッフを中心にチームで行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			年間計画や子どもの状態に合わせてプログラムを工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇には日頃できない体験活動を企画するなど工夫している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			スタッフの言葉がけや反応など一つ一つ確認して支援にあたっている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			子どもの様子について気づいたことを共有し、支援する中で疑問に思ったことなど都度解決していくよう話し合っている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			主観によらず客観的な事実を記録するようにし、支援の改善につなげている。	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			子どもの状態や対応が急がれる事項などがあればもちろんであるが、定期的なモニタリングからも計画の見直しの必要性を判断している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			基本活動であるア 自立支援と日常生活の充実のための活動イ 創作活動ウ 地域交流の機会の提供エ 余暇の提供の中で主にア・イ・エを組み合わせさせて行っている	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		学校とは必要に応じて連絡を取り合い、主に支援の内容について情報共有を行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケア児の受入れは現状の体制では困難である。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保護者経由で情報をいただくことが多い。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		移行するケースがまだないため、ケースが出てくれば情報を提供する	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		星槎大学の講師によるスーパーバイズを受けている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				送迎時、定期面談、その他気になることがあれば連絡等行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				今年度、希望する方にペアレントトレーニングを実施した。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に重要事項説明書に沿って、説明をしている。	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期面談の他に、お子さんの送迎時等にお話を伺っている。	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者の方の情報交換も目的にした保護者会を定期的に行っている。	

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際は、苦情担当が情報を集約し、職員で検討し迅速に対応していく。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月会報を発行し、活動の様子を伝えている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			書類は保管方法に注意し、データはセキュリティーソフトを使い注意している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルは備えているものの、周知は不十分などところがある。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		訓練の回数が少なく十分とはいえない。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			東京都や新宿区などの連絡会の情報などをもとに研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を行うことはない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			